

KS

CIL とよなかつうしん 豊中通信

ねん がつごう
2018年10月号 52

特集

たろうくんのぎもん
じりつせいかつうんどう
～自立生活運動ってなに？～

とよなかしんしちょう おさないしげきし とよなか かた
豊中新市長「長内繁樹氏」、豊中を語る！

ぼく 僕はホースセラピーをやりたい
しみんこうざほうこく
市民講座報告 ほか

障害者自立生活運動?
あれって 汗がきますか?

障害者自立生活運動とは

たろうくん

一九八四年八月二十日第三種郵便物認可毎月五回(五、十、十五、二十、二十五日)発行
KSK(NPO法人CIL豊中通信VOL.52)第三種郵便物認可通卷三三五七号二〇一八年十月二十日発行

とよ なか つう しん

CIL豊中通信 52号

03

特集

たるう君の疑問

自立生活運動ってなに!?

10

みんなで語ろう障害者は『排除』される存在なのか

12

カミングアウトについて考える 2018年度市民講座報告

14

CIL豊中 2018年度通常総会報告

17

CIL豊中ホームページがリニューアルしました!!

18

長内新市長 豊中を語る (豊中地域情報ばびゅーん!!)

22

事務所のつぶやき♪

24

僕はホースセラピーをやりたい

27

投稿コーナー

31

哲珍の部屋

32

ねや散歩 ハナ散歩

33

サービスのご案内

35

CIL豊中 各部署だより

36

編集後記

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」といいます。今更聞けないよつていうこと、結構あつたりしますよね。私も知らないと恥ずかしいことを聞かれたりすると、知らなくてもついつい「あれ、あれね！」と、知つたかぶりをしてしまうことがあります。わからないことを聞く勇気を持たないといけないです。

さて、皆さん、「自立生活運動」つて言葉をご存じですか。たろう君という男の子はどうやら、この運動についてわからないことだらけ。いつもたろう君と一緒にいる、真面目なタロウさんも、詳しくは知らないから説明に困つているようです。

今回の特集では、この「自立生活運動」について、若い障害当事者から素朴な質問を集めてみました。これに答えてくださるのは、実際に「自立生活運動」をやつてきた一人の方です。たろう君の疑問は解決されるのでしょうか。それでは、ご覧ください。

たろう君の疑問

自立生活運動ってなに!?

たろう：うーん、うーん、自立とはなんやろか。
タロウ：たろう君、自立生活運動というのは、
障害者が施設が当たり前だった時代
に、障害者が地域で暮らせるようにや
つてきた先輩方の運動のことですよ。

たろう：じゃあ、もう運動は過去のものって
事？運動で自立が出来るん？そもそも
も運動って何？全然わからへーん☆

タロウ：恥ずかしながら私も、運動の経験も無
い故、あまり詳しくはございません。

たろう：ほんなら自立生活運動を実際にやって
た人に聞いたらえのんや☆

タロウ：そう仰ると思って、たろう君のよう
に自立生活運動を知らない若い障害
当事者から質問を集めでみました。

これに答えてくださるのは、実際に
その身で自立生活運動を経験した小
林敏昭さんと齋藤雅子さんです。

たろう：さつすがタロウさん！まさに神対応★

タロウ：今回は3つの質問を4コマ漫画でわか
りやすく回答してます！

たろう：バス／オイラ／コマ漫画大好き★

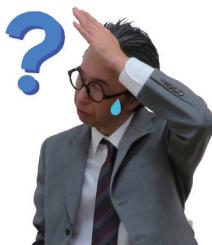
タロウ：それでは、さつそく一つ目の質問をご
覧ください。

質問1・10代男性より

僕は今の生活で満足しているが、これからはもう運動はやらないでもいいの？

たろつ：満足しているなら、もう運動はせんとゆつく
り過ごした覚ええんぢやう？で、万が一何か
不満が出たら、その時また考えこみようや。
ねえ、タロウさん☆

タロウ：いやあ、それはどうでしょうね。不満になつ
てから考えるのでは、遅いかも知れないです
よ。そのへん、ベテランの方はどう考えてお
られるのでしようね。



A portrait of a middle-aged man with dark hair and a beard, wearing glasses and a light-colored button-down shirt. He is standing in front of a row of bookshelves filled with books.

いぐらいい幸せというのはある意味素晴らしい状況だけど、自分以外のいろんな障害者が過去に、そして現在もどこかで、いろんな努力を積み重ねているということを想像するのは大変重要なことです。社会情勢や景気の変動によつては、福祉が真っ先に切り捨てられる可能性も、現実問題としてあります。今の生活がいつ突然壊れるか分からぬ。だから過去の障害者運動で何と闘い、どんな権利を獲得したのかを知ることは、とても重要だと思います。

「今の自分の生活に満足する」とは「周りに無関心になる」ということと一重です。そしてその無関心は、巡り巡つて自分の今の生活そのものを脅かすことになるかも知れません。今の社会のありがたままでいいのかどうかを考える視点が必要だと思います。

齊藤：運動Ⅱ私たちが生活することだと、それだけ私は思つてゐるのですね。だからいわゆる運動よりも、どんどん外に出かけたり、ピアカウンセラーなつて相談支援員になつたりする。それだけ

たるう：なるほど、今の満足^{まんぞく}がすっこと続くからはわからないから、満足^{まんぞく}を継続させるためにも運動^{うんどう}をやることが大切なのねー☆

タロウ：そうですね。今^{いま}の生活^{せいかつ}も、過去^{こかげ}・現在^{ざいざん}ので誰かが運動^{うんどう}をやつているお陰^{おかげ}なのですね。

たろう：生活してぐーたらやっているだけでも運動になるならオラでもできそー☆
タロウ：ぐーたらは余計ですよ。でも、齋藤さんの話を聞くと、運動は決して難しいものではないのかも知れませんね。
たろう：ん？ でも制度とかは国議員とかが決めるんじゃないの？ 生活するだけでどうして運動になるんやろかー☆
タロウ：それにはピッタリの質問が届いているので、早速見てみましよう。

軟性があるから、人間関係も上手くいくということですね。年を取つてくれば頭もカチカチになつて、自立生活に入れないと、状態になつてくると思うのですよ。だから早ければ早いほどいい、と私は思つています。



質問2・20代女性より

運動で制度を作るのだったら、運動とこうのは国会でやるものなの?

たろう：オイラ、前からテレビで見てて、一度国会の中に入っちゃったんだよ。何か格調あるビルディングやん。だから国会で運動やるうよ☆

タロウ：あのねえ、そんな興味本位でやるもんじゃないですよ！運動は。しかもビルディング…ま、とにかく国会がどのぐらい関わるものか、見てみましょう。



小林

：運動をやるのは、国会だけではもちろんないですよ。だけど「国会でやるべき運動」というのは絶対にありますね。つまり、制度や法律は国会で作られるし、それを良いものに変えていくというのはすごく大事だから。個人個人の運動は必要だけど、いざという時は団結が必要です。

テレビのニュースなどで、国会前で何かのデモが行われている様子が報じられることがありますけど、やはり国会前での座り込みなどを通じて、自分たちの姿を見せるということは、意味がある行動ですね。

忘れてはいけないのは、国會議員は私たちが選挙で選ぶということです。主権は私たち一人ひとりにある。ですから、その国議員たちがどんな主張をし、どんな制度や法律を作ろうとしているのかをきちんと見て、次の選挙で人権を守る議員に投票する。それも私たちの大切な活動です。

齋藤

：この質問は、もし自らが国會議員になつて、という意味だったら、それは難しいと思いますね。

タロウ：国会を向いて運動を行なうというのも、とても重要なですね。

タロウ：オイテは目立つ服装だから運動にはピッタリだぜ☆

やはり草の根運動というのがすごく大切なので、国会の中に入る立場では、なかなか出来なくなります。国会の中では、やはり色々がんじがらめにもなるだろうし……。

一般的の、市民の立場で運動をやっていかねばと私は思っています。

昔、今は劇團態変という障害者の演劇活動を主宰している人が、「生活保護を障害者に支給せよ」と国に訴えて、勝ち取ったことがありました。結果、その方は自立生活が実現しました。70年代には、厚生省（現厚労省）に行つて、介助

タロウ：总理大臣になつても皆様の声がなければ難しいでしよう。それほど声を上げることは重要なのです。

たろう：でもなし、デモは疲れそうやし：そ

や！今は「あいらいー（一々？）」の時代やし、インターネットで運動もやつたらええやん☆

タロウ：疲れそうで：でも、確かに外へ行くと言つて、運動しました。そういう草の根としての運動は、これからも必要だと思います。早く見てみましよう。



sello



質問3：30代男性より

僕はSNSを使って運動をやりたい。今後の新しい運動ってどんなのかなあ？

たろう：オイラは暑いのも寒いのも苦手だから、やつぱり家でね、エアコン効いた部屋でバンバン運動するのが楽でええんちゃう？☆

タロウ：楽でええってどうよ（汗）。第一、君は体力だけは満足にありそうだけど……。でも、新しい時代の運動のやり方は興味ありますね！



小林

：かつて「青い芝の会」という運動体

が、障害者が生きることに否定的な世の中に対して、告発をしていました。その必要性は今もあるのですが、告発のやり方については、昔とは違った形になつてくると思います。その意味では、SNSとか、もつと身近な手段で、身近な周りの部分を変えていくという形に、今はなりつつあると思います。新しいパターンの運動の仕方が、若い人たちの間で芽吹いてきていると思うし、SNSは一つの手段として有効だと考えています。

ただ、SNSだけでは補えない部分、生身の人間同士だからこそ感じ取れる摩擦熱のようなものも、どこかで必要になるだろうし、ネットだけではない人間関係も、創り上げないといけないですね。運動の手段としては、いろいろあっていいと思っています。

齋藤

：SNSだったら、私はちょっとピ

ンと来ないです。私もSNSはやつてしていますけど（笑）。フェイスブ

ックとかラインとかをやっています。

だけど運動ということになると、実際

にみんなで会って言葉を交わして、

「ああ、これじゃダメだな」とい

うこと話を話し合って、行政に訴えて

いくということが一番必要になると

思いますね。

私は、自立生活運動をしながら、

相談対応や講演活動も長くやっています。

ますが、その都度言えることが、介護者との関係が、すごくびつになつてしまっている、ということです。

当事者もすごくヘルパーに遠慮して

いるというか…。もつと「自分はこ

ういう生き方をしていくんだ」とハ

ッキリした意思を持つて自分のして

ほしいことを言って、ヘルパーに対しても、声掛けや配慮が必要だろうと最近よく感じます。



たろう：おおー／ええな、ええな、SNS。

オイラもいまから運動始められる☆

タロウ：新しい手段として、認められていま

すね。でもお二人とも「実際に会うことは必要」と仰っていました。

たろー：みんなで集合したら、まずは総理大臣

を取り囲むんや。おっしゃー／☆

タロウ：いやいや、いきなりそれは無理ですよ。

ところで今回、自立生活運動についてお話を聞いて、どうでしたか？

たろー：なんかめっちゃ、SNSのアカウント

を取りたくなってきた☆

タロウ：な…、そっち？ ってか、まだ取つて

いなかつたんかい！

でも、例え今が良くても安心するの

は危険だということ、肝に銘じない

といけないです。当事者のニーズ

は常にあるのだから、国の人たちも

絶対それを忘れないでほしい！小林

さん、齋藤さん、たくさん貴重なお話、ありがとうございました。

たろー：あざーつしたあー／☆

みんなで語ろう 障害者は

『排除』される存在なのか

2018年2月18日に開催されたこの講座は2016年度からの全5回連続講座の最終回となりました。第1回では、問題提起として相模原事件を取り上げ、第2回から第4回まではライブステージに沿って講座を行つてきました。最終回となつたこの回では、それまでの講座を踏まえて「障害者は『排除』される存在なのか」という少し踏み込んだ内容をみんなで語り合いました。

◇菊池恒成氏

菊池さんは刀根山病院の筋ジストロフィー（以下・筋ジス）病棟で勤務しています。まずは筋ジス病棟の歴史について紹介されました。元々は1964年に、当時の筋ジス患者の親たちが、自分たちの子どもをどうにかしてくれということで、造られたという

冒頭にはビデオ上映を行い、「何かの障害当事者の方に、映像に出演していただきました。話した内容は、「相模原事件について」、「人権について」、そしてテーマである「障害者は『排除』される存在なのか」。皆さんのリアルで真っ直ぐな意見がたくさん出たと思います。



菊池さんは刀根山病院の筋ジストロフィー（以下・筋ジス）病棟で勤務しています。まずは筋ジス病棟の歴史について紹介されました。元々は1964年に、当時の筋ジス患者の親たちが、自分たちの子どもをどうにかしてくれということで、造られたという

患者さんは、20～30年と長きに亘り入院している方もいますが、世の中の状況が変わってきたのに伴い、退院して地域で生活する人が出てきました。過疎地から出てきて、刀根山病院を拠点に、病院付近にて地域生活をしようとする方や、若い患者の中にも入院して、重度訪問介護を使つて地域生活に移行する方はいますが、かなり重度化してから入院してきた場合、また退院していくのはなかなか難しかったと話していました。

かつては児童の段階から入院していくケースが多くつたですが、現在は社会環境も変わり、呼吸器を着けていても、児童の内は地域で生活していることから、年齢を重ねて体力が落ち、親も年を取つてきたという段階になつてから入院してくるケースが増ふえているそうです。入院されている患者さんは、20～30年と長きに亘り入院している方もいますが、世の中の状況が変わってきたのに伴い、退院して地域で生活する人が出てきました。過疎地から出てきて、刀根山病院を拠点に、病院付近にて地域生活をしようとする方や、若い患者の中にも入院して、重度訪問介護を使つて地域生活に移行する方はいますが、かなり重度化してから入院してきた場合、また退院していくのはなかなか難しかったと話していました。

◇依田雍子氏

依田さんは、自閉症である45歳

の息子さんがいます。コミュニケーション能力は高く、自分で電車に乗つたり、レストランで注文したりすることは出来ますが、社会との関わりという点では、どうしても社会性が身に付くことが難しく、かつては「親の軽いが成つてない」と言われて苦労したといいます。

依田さんが従来感じていたのは、入所施設は本人の幸せのためでなく、親の安心のための存在という性格が非常に強い」ということです。相模原事件を切っ掛けに、マスコミ等から意見を求められるようになります。だが、「入所施設は悪だ」とハッキリ言いたが、入所施設は悪い親の心情も存在しているようです。それでも、「施設を永住型にしてはいけない」という考えはあります。依田さんは思っています。(障害者と)出会い事が無い、知らないといふのが、偏見や差別を生むからです。

◇徳山辰浩
徳山は中学3年の夏休みの時にプレーで事故に遭い、一瞬にして首から下が動かなくなりました。診断は頸椎損傷。3年間入院して、ようやく家へ帰りましたが、家には前の道から入口までに急な階段があり、外出するのは困難でした。

徳山は相模原事件について、非常に根が深く、考えさせられるものだと話していました。犯人が障害者との関わりが無くて偏見を持っていたのではなく、施設で働き、障害者と関わった上で、国に手紙まで出し、犯行に及んだというのは、大変ショックингなことだと語りました。犯人は、「意思疎通が出来ない人間は人間ではなく、心を持たない存在。そういう人は生きていても価値がない」という考え方には絶対的な信念を今も持っています。こんな考え方に対し、「違うんだぞ!」と声を上げていないと、こん

◆障害者は排除される存在なのか
これは、逆の角度から現実の社会状況を言い当てています。優生保護法下での、「強制不妊手術」は、言わば法の力による障害者排除です。漸く訴訟が起きたことで、この問題の社会認知が進んできましたが、国は、強制不妊が行われた当時は優生保護法が合法であつた事を盾に、「控訴棄却」を申し立てています。国会でも「救済」は議論されても、「優生保護法」の「違憲性」と、「強制不妊手術」の犯罪性を認める動きは出て来ていました。これも、障害者が今なお「排除」されていることの証だと見なします。

以上、5回に亘つて市民講座「みんなで語ろう 命シリーズ」を開催してきました。5回の講座を通じて、多くの参加者やシンポジストの方にご来場頂きました。本当に有難うございました。

(担当 大岩)

カミングアウトについて考える

2018年度市民講座報告

カミングアウトストーリーを発信

近年、発達障害やLGBTなど、マイノリティな属性のカミングアウトが話題になつていてのを受けて、表題のテーマで講座を行いました。第一部では、「NPO法人バブリング」の網谷勇気さんより講演して頂きました。そして第二部では、自立生活センター スクラムの姜博久さん、当センタースタッフの瀧本・根箭によるパネルディスカッションを行いました。

バブリングの活動の一につい、「カミングアウトストーリーの紹介」と書かれています。これは、目には見えない属性を抱える人を探してインターネットを依頼し、承諾を得られれば実行して、内容をウェブ上で発信するというものです。網谷さんは、「狙いはマジヨリティへの認知を拡大し、社会の意識を変えること」。特に子どもと関わる仕事をしている人については、気付きの機会を与えることで、もし子どもに何らかのマイノリティがある場合、適切に関わる可能性が生まれます。

最初は「これは何なんだろう?」と思いました。辞書で調べてみたところ、「同性愛」「異常性愛」と書かれており、「異常」という言葉に強いシヨツクを受けました。その一方で、中学生の頃は「もつと大人になつたら同性愛も治つて、異性愛者に変わるんじやないか?」と、思つていたそうです。しかし実際には「治る」筈がなく、絶望のあまり自殺さえ考えましたが、「死ぬぐらいならいいつそ」と思い、仲の良かった男友達にカミングアウトしたところ、斯と受け入れられました。「だから今がある」ということです。

【網谷勇気さん】

「NPO法人バブリング」は、カミングアウトをテーマにした活動を開いています。自分のマイノリティ(属性)と向き合い、大切な人に打ち明けると決心をした当事者に対して、その応援をすることを使命としています。

網谷さんのライフレビュートリー

網谷さんはLGBT当事者で、ゲイです。気付いたのは中学生の時で、





【**妻博久さん**】

姜さんは脳性麻痺で電動車いすに乗つており、在日韓国人でもあります。身体的には、車いすという時点で力元々は自力で歩いていました。その時は自らを障害者だと実感しておらず、寧ろ歩行が不自由なことに対して、「もつと普通に歩かないといけない」と思つていたそうです。在日であることについては、元々は日本名で生活していました。本名を名乗るようになつた切っ掛けは、障害者運動に関わり始めたことです。運動に加わって最初に与えられた課題が、「在日韓国人であるために、年金をもらえていない障害者がいる」という問題に対しても、自らの名前もあげながら訴えていくことだつたのです。「在日」に特化した差別問題に、日本名を名乗りながら取り組

瀧本香織

むのは筋が通らないと感じ、本名を

灌本は先天性多発性関節拘縮症という障害があり、電動車いすを使用しています。ある時、SNS上で仲良くなつた人と実際に会いました。SNSでの自己紹介に、灌本は自分の障害のことを書いていませんでしたが、手の人(ひと)は灌本を見て一瞬驚き、直後に不機嫌になつてしましました。結果、その人と再び会うことは無く、灌本はその経験を機に、SNSのプロフィールに障害者であることを書くようになりました。一方、「車いすの人(ひと)は絶対に座つたままである」と思い込む人もいるようです。ある場所を利用するための手続きをした際、灌本はイスに移乗したほうがものを書きやすいので、ただ普通に車いすから立ち上りのところ、カウンターの人は引つがつたがつたところ、カウンターの人は引つ繰り返らんばかりに驚きました。

根箭太郎

根箭は13年12月（当時40歳）に、広汎性発達障害・ADHDと診断されました。自ら望んでIQテストを受けた結果、「疑いの余地無し」と診断が下ったのですが、望んだ背景には、業務環境を巡る変化があります。当時、制度が大きく変わり、以前から就いていた職種の指す内容やルールが複雑化しました。到底適応出来るレベルではなく、診断が下り、自分の職場へのカミングアウトは早々に出来ました。しかし、多くの他機関と絡む義務が発生したことにより、一歩外に出れば、そう簡単にカミングアウトは出来ない空気を、感じざるを得ませんでした。結果、自らに障害受容禁は実現し、禁止令も解禁出来ました。

CIL豊中

2018年度通常総会報告

事務局

去る6月17日(日)、当法人事務所にて特定非営利活動法人CIL豊中2018年度通常総会が開催されました。10時30分に開会宣言、徳山理事長による開会挨拶の後、議案は全て原案どおり承認可決され、12時15分に閉会しました。

議事

報告事項
第一号議案
2018年度事業計画及び予算
告及び決算の件
定款変更の件
第二号議案
2017年度事業報

法における在宅福祉サービスとし
た。
た。障害者総合支援

※2017年度事業報告及び決算※

て、居宅介護、重度訪問介護、同行
事業として、移動支援、計画相談支援を行った。地域生活支援を
域相談支援を行った。地域生活支援等支援事業、豊中市障害者相談支
援事業を行つた。児童福祉法にお
ける在宅福祉サービスとして、放課
後等デイサービス、児童発達支援、
障害児相談支援を行つた。介護保険
における在宅サービスとして、訪問
・日常生活支援総合事業問合せ
・介護、介護予防訪問看護（医療保
健含む）、介護予防訪問看護（医療
保健含む）、介護予防訪問看護（医
療保健含む）等支援事業を開
始し、重度障害者の入院中のサポー
トを行いました。

2016年に起きた相模原事件を受け、障害者の「命」を共通テーマとして
マとして様々な立場の方々と語り合
ました。毎回様々な講師やパネリストの熱い講演と共に、会場参加者と
本音で語り合いました。
また、障害者自立支援協議会や
定審査会、医療系会議などに委員と
して参加し、地域福祉の充実に力

&ガールズ」が重症心身障害児（者）多機能型通所事業所として再出発しました。重度障害児（者）の地域生活を支える数少ない社会資源としてサービスの充実に努めました。
また、豊中市重度障害者入院時
コミニケーション等支援事業を開
始し、重度障害者の入院中のサポー
トを行いました。

2016年に起きた相模原事件を受け、障害者の「命」を共通テーマとして
マとして様々な立場の方々と語り合
ました。毎回様々な講師やパネリストの熱い講演と共に、会場参加者と
本音で語り合いました。
また、障害者自立支援協議会や
定審査会、医療系会議などに委員と
して参加し、地域福祉の充実に力

を
注^{そそ}
い
だ[。]

（豊中市市委託事業）
 豊中市障害者相談支援事業
 障害者及びその家族等が地域生
 活をしていくための相談及び支援
 相談・支援件数 2,033件

・市民講座「みんなで語ろう」

シリーズ4回
 自立生活プログラム講座

・自立生活体験室
 全4日

自立生活用65回
 丰中市障害者基礎幹事会
 1相談事業（豊中市市委託事業）

デイサービス
 1相談事業（豊中市市委託事業）

宿泊利用2泊、
 相談支援センター

支援専門員1名派遣

中市障害者外出支援サービス
 行回数2,455回

（豊中市補助事業）
 点字名刺の作成販売
 作成枚数1,640枚

障害支援区分認定調査
 1件

利用者数	4人
地域支援	3人
利用者数	7人
障害者総合支援法	1人
派遣時間	125, 617時間
通所回数	376回
放課後等デイサービス	54回
児童発達支援	1, 274回
介護保険法介護サービス	6, 441回
訪問看護サービス	4, 945回
介助サービス(制度外)	4, 945回
参加者数	147人
クリスマスパーティ	1人
派遣時間	278時間

活動計算書

2017年4月1日～2018年3月31日(単位:円)

I	経常収益		III	経常外収益	
1.	受取会費	86,000		経常外収益	0
2.	受取寄付金	0	IV	経常外費用	
3.	受取補助金等	9,276,000		経常外費用	14,011
4.	事業収益	518,567,857		税引前当期正味財産増減額	7,557,499
5.	その他収益	1,025,996		当期法人税等	2,678,000
II	経常費用			当期正味財産増減額	4,879,499
1.	事業費	519,240,320		前期繰越正味財産額	178,683,205
2.	管理費	2,144,023		次期繰越正味財産額	183,562,704

《定款変更》

特定非営利活動促進法（NPO法）

特定非営利活動法人CIL豊中定款を下記の通り変更する。

大明書院

この法人の公告は官報に
第52条
より行う。

【変更後】 （公告）

第52条 この法人の公告は官報に掲載して行う。但し、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、内閣府NPO法人ボンタルサイト（法人入力情報欄）に掲載して行う。

《2018年度事業計画及び活動予算》

祉サ－ビスとして、居宅介護、重度障害者総合支援法における在宅福

訪問介護、同行援護、生活介護、計画
相談支援、地域相談支援を行ふ。
地域支援事業として、移動支援、
地域相談支援を行ふ。

り
人ひとりを尊重した支援を行つて
いきます。
また、障害者自立支援協議会や
相談支援等連絡会、障害支援区分認
定期審査会、医療系会議などに引き続
き委員として参加し、地域福祉の充
実に力を注いでいく。
円 円 年 度 予 算 は 約 5 2 0 , 0 0 0 , 0 本 ほんねんどよさんさんはやく



CIL豊中のホームページがリニューアルされました！

皆さんには、CIL豊中のホームページをご覧になつたことはありますか？講座やクリスマス会の報告、ILPルームのご案内に各事業の紹介など、これらの他にもたくさんのお情報が載せられています。そんなCIL豊中のホームページが今年の4月半ばに、全面リニューアルされました！

リニューアルの目的はとくに、昨今のスマートデバイス（スマートフォンやタブレット）に対応するためです。一昔前まで、ホームページを見ると手段といえば、パソコンしかありませんでした。今では多くの方が気軽に自分のスマートデバイスでホームページを見るという社会になりました。ですが、そんな便利なスマートデバイスは、パソコンに比べて画面が小さいので、今までのパソコン用のホームページをそのまま見ると、実はものすごく小さい文字で表示されてしま

まうなど、とても不便なのです。そこで、今回のリニューアルは、時代の変化に対応し、皆さんより楽にホームページを見られるようにするということを目指しました。もし機会があれば、パソコンからだけではなく、一度スマートデバイスからも覗いていただけると嬉しいです。

新着情報が分かりやすく！

さて、CIL豊中のホームページのトップページをご覧になると、まずメニューがあります。そこを見ると新たに追加された内容が一目瞭然。そして、新たに設けられた『PICK UP（ピックアップ）』には、これから開催予定の主催講座の告知や、イベントの情報が載せられています。なので、この2力所をチェックしていただければ、新たに更新されたページを探さなくても

見逃すことはありません！

そして、思いをメツセージに

今回、追加された内容に、理事長、そして各部署の管理者からのあいさつが載せられています。ぜひ一度読んでいただき、それぞれの思いを感じただければと思います。

この広報誌『CIL豊中通信』も、ホームページに載せていますよ☆（PDF版・テキスト版があります）

（担当：西村）



<http://www.cilttoyonaka.com/>

豊中地域情報

ばびゅうん!!

今年4月、新しい豊中市長が誕生しました。

長内繁樹市長です。

当センターは豊中市委託事業を長年おこなっている関係上、多くの行政の方と関わりを持ち続けてきました。また、今から20年前、当時の一色貞輝市長が当センター（前身の団体の旧事務所）に来所されたことがあります。

今回、C-L 豊中通信として、市長、突撃インタビュー、を企画、去る18年7月13日に実施しました。障害福祉のことから、まちのこと、さらには長内さんご自身のことまで、いろいろお話を伺いました。

取材者は、上田・根箭・瀧本の3名です。

長内新市長、豊中を語る

Q まずは、豊中市のアピールポイントはどう
こでしようか？

たとえば関東などに行つて「大阪国際空港のある街」というと、「伊丹ね（伊丹は兵庫県）」って言われたりします（笑）。関東の人も豊中のことは、40万都市だからということを知ってくれていますが、ではどこにあるのか？までは分かってくれていません。

教育文化都市で、便利な住宅都市という認識はされないことまで、いろいろお話を伺いました。

「便利なまち 豊中」以外の面でも、親しみを持つてもらえればと思いますね。一番は、「住み続けたいまち」になること。だからまずは「住みたい」「住み続けたい」まちということをアピールしたいです。

由緒ある歴史的な部分も発信していきたいです。

今年8月5日から始まる全国高等学校野球選手権大会が、節目となる第100回大会を迎えますが、第1回大会は、豊中市で開催されました。この100回大会にあたり、5月30日には、玉井町にある高校野球発祥の地公園で、地方大会の始球式で使用するボールの出発式が行われました。

た。

「便利なまち 豊中」以外の面でも、親しみを持つてもらえればと思いますね。一番は、「住み続けたいまち」になること。だからまずは「住みたい」「住み続けたい」まちということをアピールしたいです。

Q 生きづらさの定義とは？

※「生きづらさを抱えている人たちにも地域で心配りができるよう、市民のみなさんと地域コミュニティの活性化を進めていきたい」と発言されている記事を他誌で拝見して。

生きづらさは、例えば私が上田さんを見て決めるものではありません。特定の人々に言えるものではないと思います。「辛い」というのは自分が思うしんどさだから、私の独断で言えるものではないですね。

生きづらさがある人が、みんな生きづらさを感じているという訳ではないですし、障害のない人でも、生きづらさを感じている人は当然いるでしょう。人それぞれ持つている生きづらさに、定義はないですね。

その人にとってのしんどい部分が辛い部分であり、それがずっと続いて、

人生に影響を与えるとなれば、生きづらさになるのだと思います。その人の話を聞く上では、受け止めることが大切だと思っています。

私自身も生きづらさを感じることはあります。だから「受容と傾聴の大切さ」については、自分と一緒に仕事をしている職員にも、研修の機会などに発信しているし、市長になる前、健康新福祉部長や副市長だった頃から、大切にしていることです。

Q 福祉分野等で、他市を見習うべきだと感じた面はありますか？

尾道市が先駆的な取り組みをしています。病院から患者が自宅へ戻るときに、一人一人のケース会議を開くのです。そこには主治医と地域のかかりつけ医、訪問看護、ケアマネジャー、薬剤

師、市の保健師と、あらゆる職種が集まって、患者の在宅生活を支えるためのチームアプローチが出来る体制を作ります。これを、医師会が筆頭に作つていて、大変理想的だと感じています。豊中でも「在宅での医療と介護、医療と福祉」、これらの接点をもつと深める、そのための仕組み作りをしていきたいです。

豊中の特徴として、「虹ねつと」があり、ケアマネジャーと医師は、FA Xでのやりとりで話ができる環境が出来ています。利用者の生活背景がからなければ、ドクターも診断を下すことが難しくなってきます。そこで両者が、連携を深めるためのしくみとして虹ねつとが生まれました。

ケアマネジャーがついていた人だけではなく、子どもや障害のある人も、在宅で必要な時に主治医が来てくれる仕組みを作り、医療との接点を大きくしていきたいです。そのためには、バッカアップとして、病院とのフオ

口一体制の強化が必要になります。安心して住みやすい福祉のまちづくりを進めていきたいと考えています。

Q 医療的ケアが必要な児童や障害者の、社会資源の不足については？

豊中の場合は、共に学び共に育つインクルーシブ教育が、昭和40年代から取り組まれてきました。医療的ケアが必要な児童も受け入れられるようになつた教育現場において、一番キーポイントとなるのは、看護師です。

看護師がいなければ、医療的ケアが必要な生徒が学校で過ごすことは、現状ではなかなか出来ません。

看護師の確保は、人口減（少子化）で、なおかつインクルーシブでもあるべき現代において、一人一人の児童を大切にするため、ナショナルミニマム

Q 幼いころ障害がある子と遊んだり、親しい人等に障害のある人はいますか？

父親が転勤族で転校が多かつたために、いろいろな人と知り合えました。小学校の頃も軽度の知的障害の子がいて、その子がからかわれているのを見ると、みんなで守つていました。みると、みんなで一緒に学校生活をする中で、弱い者いじめなど、不適切な行為をする子に注意するという風潮が、当時（昭和40年代）はありましたね。

その後、転校した先でも軽度の知的障害の子がクラスメートにいました。一緒にプールに行ったり、野球をする楽しい仲間でした。

やがて社会に出て、いろいろ分かつ

てきた中で、大切にしたいのは、“イバーシティ（多様な人材を積極的に活用しようという考え方）”です。性別や障害のある・なしなど、人には様々な違いがあります。その違いを排除するのではなく、認めていくことによって、新たな価値観や創造性を生み、発展させる、そのことを大切にしたいと思っています。

もう一点、「障害は特性」という観点です。特性が障害になるのは、「人の視線や社会の環境によるもの」だと思っています。従つて、「特性が障害にならないような社会」を創るために啓発を、しっかりと行いたいと考えています。

障害特性に対しても、それが特別だとは思わないという周囲の理解、それに加えて、適切な支援、この2つによつて、特性が障害ではなくなるということを大切にしていきたいです。

Q 豊中の「共に学ぶ」教育のこれまでについて、どのようにお考えでしようか？

「共に学ぶ」共に生きるの観点から、何が本人にとつて一番良いのか。現状、本人よりも親の意向で決めていることが多いと思われます。本人に選択してもらう」とが一番良いのです。が、なかなかしづらい場合は、経験者を含めて色々な人にアドバイスを求めて決めていくのも良いと思われます。

本人にとつて良い「共に学ぶ」環境を、みんなで考えることも大切です。たとえば小学校を選択する時は、本人はまだ小さくて、自分で選択することは難しいですね。親と教師で一緒になつて、本人にとつて良い選択をするような相談支援など体制を充実させていくことが必要だと思います。

Q 市長から発信したいことがあれば仰って下さい。

これからもいろいろ行事やイベントに参加して、市民の皆さんと一緒にふれあい、色々なお話し出来ればと思っています。一人の市民としても一緒にイベントを楽しみたいですね。

◇おわりに◇

市長に直接インタビュ

ーといらのは、初めての体験でした。それだけに、取材前は非常に緊張していたのですが、市長は大変穏やかな語り口の方で、終始落ち着いた気持ちで過ごすことが出来ました。

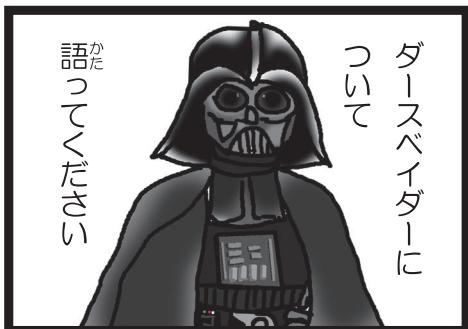
これから市の取り組みを、当法人としても関心を持って見守り、機会がありましたら、また、

インタビュー Part 2 を企画してみるのも、面白いかも知れないと思っています。
長内市長、このたびは公務でご多忙な中、貴重な時間を、本当に有難うございました。
(担当..瀧本)

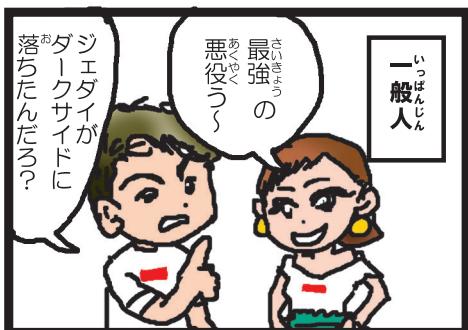


じ も しょ 事務所のつぶやき Z

ダースベイダーで思うこと



かつ丼は出なかった



※最終的に皆さま優しかったです

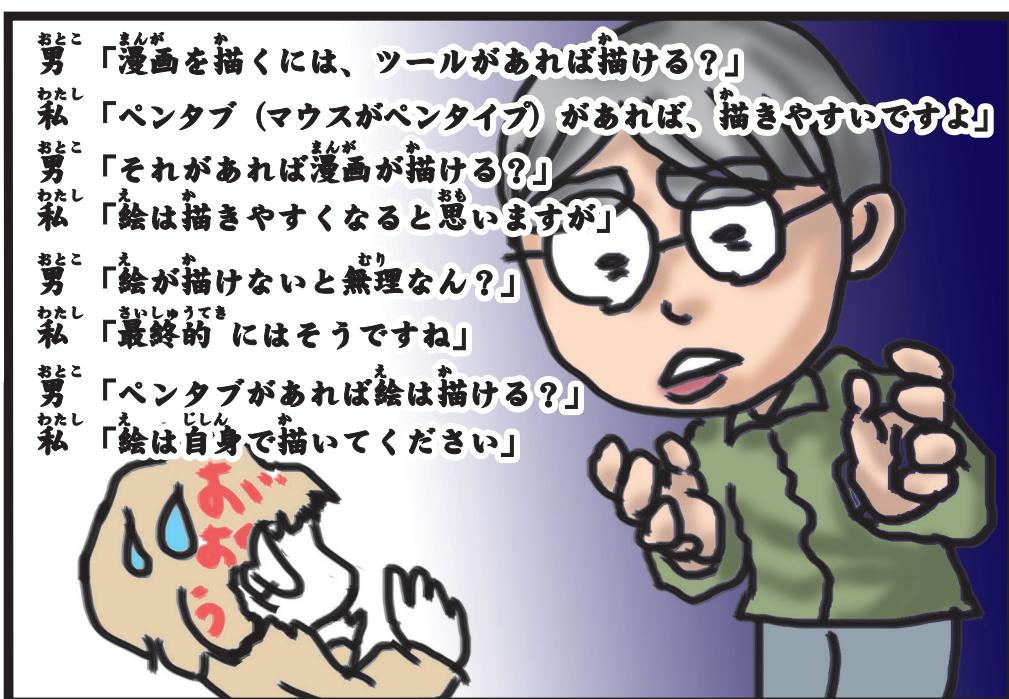
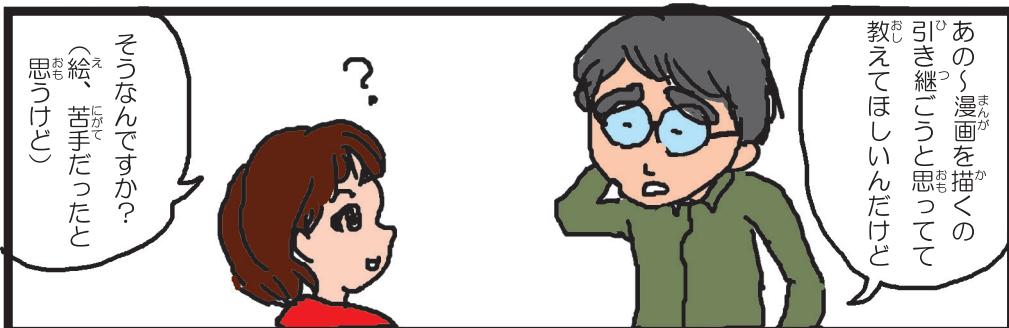
担当：玉井

事務所のつぶやきZ

とよなか まんがかたまいせんせい いま

DL 豊中の漫画家！玉井先生、今までありがとうございました(;∀;)

漫画を引き継ごうとしてくれたが・・・



担当：玉井

さて、次回から事務所のつぶやきZはどうなるのか…お楽しみに☆

「アニマルセラピー」をご存知の方は多いと思います。でも、「ホースセラピー」はいかがでしょう？馬といえば競馬か時代劇で、セラピーというイメージはないかも知れません。しかし、馬のセラピーとしての力はすごく大きいそうで、セラピーの一つに、「障害者乗馬」もあるらしいのです。元々競馬が大好きな私の目は輝きました。いや、馬が大好きな私の目は輝きました。乗つてみたい！でも、重度障害者の私が馬に乗ることなんて出来るのか？そこで今回、角居勝彦さん、福留健一さん、矢野孝市郎さん、「株式会社日本サラブレッドコミュニケーションズ」（T C C J A P A N）の山本高之さんにお話を伺いました。



僕はホースセラピーをやりたい。

日本ではあまり知られていませんが、海外では多くの人が受けています。動物を愛でることで得る癒やしによるQOL向上が目的となります。私は動物が大好きで、動物の動画を見るだけでも癒やされるのに、ムツゴロウさんみたいに「よーし、よしよしづ」ってモフモフしたらその癒やし効果は

■アニマルセラピーって？
日本ではあまり知られていませんが、海外では多くの人が受けています。動物を愛でることで得る癒やしによるQOL向上が目的となります。私は動物が大好きで、動物の動画を見るだけでも癒やされるのに、ムツゴロウさんみたいに「よーし、よしよしづ」ってモフモフしたらその癒やし効果は

はすごく大きいそうで、セラピーの一つに、「障害者乗馬」もあるらしいのです。元々競馬に乗ることなんて出来るのか？そこで

た。乗つてみたい！でも、重度障害者の私が馬に乗ることなんて出来るのか？そこで

絶対でしよう（じゅるつ）。また、海外では「動物介在療法」といつて、治療が目的となるものもあり、ドイツなどで、セラピーというイメージはないかも知れません。しかし、馬のセラピーとしての力は保険適用になる事例もあるようです。

■では、ホースセラピーって？

アニマルセラピーの一つで、馬を使つたセラピーです。馬は大きい動物だし、愛でることなんて出来るの？と思われるかも知れませんが、実は大きな動物にしか出来ないセラピーがあります。それは乗ること！しかし馬に乗ることで、一体どういった効果があるのでしょうか。

■ホースセラピーの効果

矢野さん曰く、馬は人の気持ちを理解する動物なんだそうです。言葉によるコミュニケーションは取れませんが、馬は人の気持ちを感じ取ろうとし、その動きは、人間関係に疲れた人達にとつて、大きな癒やしになるといいます。

また、身体面でも効果があり、それは乗ることによつて得るそうです。馬に乗る

の姿勢や馬の歩く振動は内臓にいい刺激を与えると、福留さんが話してくれました。福留さんは事故で脊髄損傷になつたそうで、車いすでホースコミュニティの仕事をやつっています。「身をもつてホースセラピーの効果を感じている」福留さんを見て、私もますます乗つてみたくなりました。

■療育としての効果

ホースセラピーには、障害児・者や高齢者に向けた「乗馬療育」があります。

T C C J A P A N では、「P O N Y K I D S」という放課後等デイサービスで、乗馬療育に取り組んでいます。

自閉症や発達障害の子供で、人とのコミュニケーションが苦手な子、自分に自信が持てない子がいます。馬を介することで、自然とコミュニケーションや距離感を感じることが出来ると山本さんはいいます。例えば、馬は嫌なことをされると、ダイレクトに態度で表し、乗馬してもらちゃんと動いてくれなくなります。言葉を読み取るのが苦手な子でも、感覚的に馬を通じて気持ちを読み取ることが出来るのです。

と、人は必ずバランスを取ろうとしていることによって得るそうです。馬に乗る

また、馬に乗ると目線が高くなり、これがすごく自信につながるらしいのです。不登校の子たちにも大きな効果があるのだとか。乗る前に馬房の清掃をするなど、馬と触れあう中で徐々に社会性も身につけることができる、それが乗馬療育です。

■引退馬支援

ホースコミュニティやTCC JAPANでは、競走馬として競馬で走る馬の、引退後の支援もおこなっています。

年間7千頭ほどの馬が中央競馬では生産されるのですが、その内、引退後に種牡馬になれる馬は、大きなレースで勝ったごくわずかな馬だけです。では種牡馬になれたかった馬達はどうなるのか。矢野さんは、地方競馬で第2の競馬へと繋げたり、乗馬クラブへ行つたりしていると仰いました。しかし、詳細はわからないのが現状だそうで、殺処分をされる馬もいます。

ホースコミュニティでは「サンクスホースプロジェクト」といて、1頭でも多くの引退馬を次職業へ繋げるための支援をして



山本高之さん(右)

ホースセラピーの課題とは
角居さんは現役の、栗東トレーニングセンター調教師です。年間生産される7千頭という数は、世界で通用する馬を作れる上で必要なボーダーですが、走れなくなつた馬を殺処分する流れは、競馬ファンを離れさせる要因になりかねないと話す角居さん。調教師

います。引退馬を受け入れ、岡山の「吉備高原サラブリトレーニング」でリトレーニングをしながら、その馬に合つたセカンドキャリアを見つけるのです。その資金は寄付金やふるさと納税のほか、TCC JAPANの「TCC FANS」という事業等で担っています。これは、競走馬時代のファン達がその馬の引退後、オーナーになつて自分たちが支えていく事業です。それぞれの形で力を出し合い、引退馬を支援するプロジェクトが形作られていました。

ホースセラピー全体としての課題は「効果のエビデンス」、「生業としての形」、「安全性の画一」等が挙げられます。全国にはたくさんのホースセラピーの団体があり、それぞれがこういった課題に取り組んでいます。団体としてはまだ若いホースコミュニティは、今必要とされる役割へと形を変えながら、「馬が身近な社会」への実現に突き進んでいるのです。

■僕は乗れるのか

脊髄筋萎縮症といふ重複障害がある私が乗馬することは、果たして可能なのか?矢野さんは、馬の歩く振動がその人の障害によってどう作用するかわからないから、医師との相談が必要だと仰いました。しかし心配無いということであれば重度の方でも乗馬を楽しんでいる方はいます。角居さんは栃木県にある「ピルエット」という乗馬クラブを紹介してくれました。ピル

エツトは運営者が医師で、乗馬療育者が介護の資格を持つことから、全国でも一番、重度障害者に対応できる乗馬クラブだということです。現状、ほかに対応できること無く、乗馬療育というのは継続してこそ効果があることから、近くで、必要な体制が整った乗馬クラブの誕生が望ましいですが、まだ課題は多そうです。

■これからの形
栗東で生まれ育つたけど、馬とは全く縁が無かつた山本さん。しかし東京へ行くと、「栗東といえば町を馬が歩いている」とまで言われるほど、馬との繋がりを皆が感じていることが改めて解つたそうです。東日本大震災をきっかけに地域力の重要性を感じ、山本さんは誰もが住みやすい、馬と福祉を融合した町にするため、栗東へ帰つてきました。そこで角居さんと出会い、ホースコミュニケーションとの連携を取つていったのです。これから形として年度末に「TCPARK RITTO」がオープンします。ここは、PONY KIDSの活動等がメインとなります。ゆくゆくは誰もが馬

にふれあえる新しい形の施設へとなつていくとのことです。関西にそういつた場所が出来るのは非常に嬉しいことですね。

■読者に一言

矢や..私たちの馬を活用した活動が、障害の有無に関わらず、皆さんの身近な楽しみへと繋がるよう、頑張っていきたいと思ひます。

矢や..今は引退馬支援ということになつていますが、将来的には障害のある無しに関わらず、たくさんの人々に馬を身近に感じて貰えるよう、活動していきたいです。もし近くで馬を見掛けることがあれば、是非触れ合つてほしいです。

福..サンクスホースデイズのイベントを通して、多くの方に活動を知つて欲しいし、障害のある方でも馬に乗れるんだといふことを知つて欲しいです。馬を介したコミュニケーションを作るのに壁があつてはいけない。危険な動物といふイメージは取り払われたい。障害があつても馬券を買う楽しみはあるべきだと思うし、きれいな馬が走る姿を見

てみたいと思うから、まずは全ての壁を取り払われるよう。チビツ

コはチビツコだけ、成人は成人だけ、健常者は健常者だけ、障害者は障害者だけという分け方が本当に正しいのか、方本當に正しいのか、馬を介してそういう壁を取つ払う、一つの切掛けになつてほしい。

■いつかは乗つてみたい

今回のお話でホースセラピーについて様々なことを知ることが出来ました。私が大坂で乗馬をするには、まだ課題が多そうですが、いつか誰もがどこでも気軽に乗馬を楽しめる社会になればいいですね。

私は諦めいませんよ! いつか必ず乗馬を体験してやる!! その時は必ず皆さんにも報告させていただきます。

今回取材にご協力くださいました皆さん、本当にありがとうございました。

(担当..大岩)



投稿コーナー

みなさん、こんにちは！このコーナーでは、俳句・川柳・コラム・自立生活レポート・大喜利・写真で大喜利など、みなさんからの投稿作品をご紹介しています。今回もたくさんの方の投稿作品が集まりました。投稿して頂いたみなさま、本当にありがとうございます。各カテゴリで一番面白かった作品には「☆」が！？※全ての作品を紹介できない場合がございます。あらかじめご了承下さい。

短歌・俳句	
○夢殿の救世観音の面影重なる （吉村史生さん）	☆我が短歌の上に星マーク （岩国久美子さん）
○過ぎにし君の面影重なる （吉村史生さん）	冊子抱きしめ一人で泣きぬ （吉村史生さん）
○ひとり身は年重ねても気は若し 機会有らばと目を光らせり （阿志賀俊範さん）	うれしくて （吉村史生さん）
○四十肩 （完全自虐ネタなり） もとい頭は始終馬鹿 （最高位序二段さん）	☆ボウリング新たな出会いは スプリット （犬太さん）

原稿の締め切りが今日だというのに、700字あまり書き進めたところで白紙に戻したくなつた。こんな時にかぎつて、ややこしい話を取り上げたくて仕方がない。
ぼくの日常生活の中で、目に見えるほとんどの部分の行為を「ヘルパー」が代行する。それは食事であつたり、排せつであつたり、お風呂や着替えや…、人として生きていく上で必ず完結させていかなければならぬ事ばかりだ。しかし、ちよつと我慢すればやり過す

ぼくの日曜日
「障害」の受容
コラム

シートヨ3

○強風で飛んで儲かる
（大正区外出支援は対象外）
（藤田ニコルさん）
屋根屋さん

ごすことができる場合や、ぼくにとつてはとても大切なことでも周囲にとつてはどうでもよいように見えることもある。

「おしつこがしたい（させてほしい）」、なんてことはヘルパーの背中がどんなに忙しそうであつても、普通に声がかけられる。だが、「ラジオのダイヤル（放送局）を変えてほしい」などとなると、忙しい背中に声をかけることをためらつてしまつたりする。AMラジオファンのぼくは、曜日と時間ごとに聴きたい放送局が変わることで、お頼いできないうちにその番組の中で一番おもしろいオープニングトーキが終わつていたりすると、取り返しがつかない後悔に襲われてしまう。

障害者とヘルパーとのやり取り（関係）だけではなく、日常の様々な場面で相手を「ちょっと理解」しておくと心にゆとりが生まれる。ぼくのラジオ好きがそのヘルパーの情報にインプットされているか、いないかはかなり大きいことだろう。また、ヘルパーの性格

をちょっと頭に入れておけば、声をかけるタイミングも変わつてくる。

プライバシーがどうとか、仕事だからとか…、現代社会は枠組みや立場を優先させる。けれど、たまたま同じ空間にいて、同じ時間を共有できることの幸運をもつと大切にできればと思う。

もう一つ、障害のない人には解つてもらいにくいことがある。それは「たのむ」ことの面倒くさである。障害のない人が何かをしようとする時、脳からダイレクトに行動へ移すことができる。しかし、ぼくの場合は違う。それが一番顕著なのがパソコンの操作である。

たとえば、障害のない人が文章を入力しようとすると、頭に浮かんだ文をそのまま打ちこめばよい。ところが、ぼくにはいくつかの手順が必要になる。まず、ヘルパーに一つの文章を言葉で伝える。ヘルパーはそれを打ち込む。それで終わればいいのだが、○○くんの「くん」はひらがながよいのか、漢字

がよいのか、カタカナがよいのか、個人の好みはあつてもこういふのは場合によつて使い分けるので「必ず」はない。「ことやよう」なども悩ましいし、句読点の打ち方なども、一人でできる人が読むかにチエツクの手間がかかる。また、言葉が聞き取りづらいこともあります、伝えた文章とまったく異なる内容が打ち込まれていたりもする。

もつと些細な場合でも、伝えて「代行」してもらわないといけない面倒くさはつきまとう。ちょっと足を曲げてほしいとか、ちよつと目クソを取つてほしいとか、服のボタンを一つはずしてほしいとか、やり過ごせることがあると「まあいいか」と頼むことをやめてしまうことがときどきある。

それは「遠慮」とは異なる。なかなかぼくのイメージ通りにしてもらえそういうにないヘルパーが付いたりすると、説明やなんやかんや本当に面倒くさいのだ。

ぼくはヘルパーに気遣いはしても、遠慮をする事はない。「こいつには何

でも話せるな」と直感すると、関わりの浅いヘルパーにも本音で話してしまう。そうして、一人ひとりと関係を継続させている。

うまくいったり、いかなかつたりの連続で仕事や生活は続いていく。ときどき立ち止まりながら、何故うまくいくのか、うまくいかないのか?ぼくと仕事や生活を支えあう人たち(支援は一方通行ではなく、双方向に存在するものだから)と試行錯誤しつつ「考え方」時間を大切にしていきたいと思う。

お知らせ
19年2月23日 岡町の伝統芸能会館で行われる「劇団金夢太郎飴」の公演でメインキャストを務めます。ぜひ、スケジユールに入れておいてください。詳細は劇団金夢太郎飴のブログをチエツクしてください。よろしく。

（海帰優人さん）

大喜利

シートヨ5

「次回オリンピックから
新しく加わる競技とは??」

ミニ四駆マラソン
バイオハザードサバイバル

ふうせんバレー
（ゲーハーさん）

体操競技 つり革

（最高位序二段さん）

トイレ掃除

羽子板ラリー
（藤田ニコルさん）

1100mハードル

（猫背太郎さん）

○我々は異次元からやつてきた。
（藤田ニコルさん）

○宝塚歌劇に対抗して、新しい
劇団をつくりたいのですか
（シベリア歓喜団さん）



写真で大喜利

シートヨ6

○大谷の160kmストレートを

必死で

避ける人々
(ゲーハーさん)

○理事長がきたあああああ

〈大太さん〉

○運動不足解消レッスン中級編、

18倍速で撮影

○本番では電飾を身に付け、人間

イルミネーションをしました

〈最高位序二段さん〉

○お兄ちゃん

〈お兄ちゃんさん〉

○最先端VR技術採用

〈猫背太郎さん〉

《投稿作品大募集》

CIL 豊中通信では、みなさんからの投稿作品を大募集しております。

◆俳句・短歌

応募番号 1

テーマは自由

応募番号 2

川柳

応募番号 3

コラム

応募番号 4

自立生活レポート

応募番号 5

400字から1200字

応募番号 6

大喜利

応募番号 7

お題

応募番号 8

お題

応募番号 9

写真で大喜利

応募番号 10

お題

応募番号 11

最先端VR技術採用

応募番号 12



《応募方法》

郵送、FAX、メール、Twitterのいずれかの方で、ご応募いただけます。

必要事項

①お名前

②ご連絡先

③応募番号

④投稿内容

郵送での応募

ハガキまたは手紙に必要事項を記入の上、左記の送付先までご郵送下さい。

【送付先】

〒560-0033 大阪府豊中市池田中町2-3-1-305

豊中市障害者自立支援センター

FAXでの応募

用紙に必要事項を記入の上、次のFAX番号までお送り下さい。

【FAX】

06-6857-3602

メールでの応募

お使いのメールより必要事項を記入の上、左記アドレス宛てにお送りください。

【アドレス】

tuusin@ciltoyonaka.com

Twitterでの応募

CIL 豊中のアカウントを

フォローしていただき、ハッシュタグ (#シ

ートヨ「応募番号」※俳句の場合は #シー

トヨ 1となりますが、)を付けてツイートし

てください。【アカウント】@ciltoyonaka

哲珍の部屋

今回も、おっさんぽい事言います。
もちろんおっさんは自覚しています。
今回は障害のある子を持つ親御さん
について思つたことです。
子供の時から色々な親御さんと接し
て来て、感じて来たことなので。

昔、若かつたお母ちゃんには、若か
いお母ちゃんを責めない、羨ましま
ない。
振り返りを武勇伝にしない。
今の制度が善いと思わない。
若いお母ちゃんに、もう一步優しく
歩み寄る。

「自立（生活）とは、どこに住むか、
いかに住むか、どうやって自分の生活
をまかなうか、を選択する自由をいう。
それは自分が選んだ地域で生活するこ
とであり、ルームメートを持つか一人
暮らしをするか自分で決めることがあ
り、自分の生活（日々の暮らし、食べ
物、娯楽、趣味、悪事、善行、友人等々）
すべてを自分の決断と責任でやつてい
くことであり、危険を冒したり、誤
ちを犯す自由であり、自立した生活を
することによつて、自立生活を学ぶ自
由である。」

わっていく。
若いお父ちゃんには、仕事を理由に
育児をお母ちゃんに任せきりにしな
い。面倒だとは思わず、親の団体に
関わっていく。
最低限度やつてほしいことだ。

前回も記載した、世界初の障害者
情報誌『リハビリテーションギヤゼ
ット』の「自立」についての定義のよ
うなもの。この言葉、親御さん等にも
響いてほしい。

声挙げな、福祉制度は悪くなるし。
声挙げな、国や府や市の福祉行政
は、行政に都合よく振舞つてしまふ。

親御さん等が集まつて団結して声挙
げてきたから、行政が仕方なく制度
を構築してきた時代もある。
障害者を取り巻く環境もまだまだ
未完なもの。親御さんたちも今一度、
団結して行政と一緒に声を挙げてほ
しいものだ。

ねやたろう



私はタイトルが示すとおり、散歩が好きな人間であるが、普段は歩くよりも、電車やバスに乗り回すことがメイクの「乗り歩き」をしている。一つだけ、純粹に「歩く」散歩をする時間がある。実家にいる愛犬ハナの散歩だ。週に大体3回、日頃散歩を行ってくれている母親に代わって連れて行くのだ。ただ、最近はハナも年を取つてあまり歩かなくなり、近所の公園を中心に行き20分ほど。かつては遠くまで、1時間以上歩いていたものだ。今もたまに長く散歩をすることがある。

話が急に変わると、が、インターで、発達障害者へ

ハナ散歩

の介助犬に関する記事を読んだ。アメリカの話であるが、或る11歳の発達障害者のもとに、介助犬が提供された。提供元である訓練施設は、全ての「見た目には判らない障害者」に、介助犬を提供しているそうである。この当事者は特に物の音に過敏で、一人で外出に出ることを大変嫌っていたのが、記事内では学校で当人が何かが、記事題に取り組み、その足下で介助犬が待機している様子が、写真で紹介されていた。

この記事から読み取れることは、日頃、人間社会では刺激に過敏な発達障害者にとつて、犬の大変心強いということである。翻つて我が家人生を振り返つて

命線と言えた。親も段々年を取つてきた今、ハナは「ラスト愛犬」となる。最近そのハナに、ある変化が生じている。床で寝転がつて、ハナに私が近寄ると、ちょっと前までならお腹を丸出しにして「添い寝」を受け入れ、それが私には至福のひと時だったのだが、最近、誰が触つても激しく嫌がるようになつたのである。元々ハナは歴代の犬に比べ、触られるのが好きでない傾向はあつたのだが、それが顕著になつてきたようだ。

犬の専門職の人の話では、「古いによる変化」ということである。確かにハナは現在13歳、老犬ではあるが、長生きしたほかの犬は、誰一匹そんなことはなかつた。まあ、犬にも性格はあるわけだからそういうことか。仕方のない話だが、わたしや正直寂しいよ。



☆☆☆サービスのご案内☆☆☆

ヘルパーステーション C I L 豊中
訪問看護ステーション C I L 豊中

TEL 06 (6840) 8195 FAX 06 (6840) 8196

障害者総合支援法介護サービス

障害者総合支援法によるホームヘルパー、ガイドヘルパー派遣。

◇サービス提供範囲 豊中市及び近隣地域

◇サービス提供時間 24時間 365日

介護保険訪問介護・総合事業訪問介護相当サービス

介護保険によるホームヘルパー派遣。

◇サービス提供範囲 豊中市

◇サービス提供時間 24時間 365日

介助サービス

障害者(豊中市在住)の自立支援を目的とした、制度外サービス。

介助料

【一般介助】1時間 1,200円 【その他】旅行介助

介助者にかかる交通費及び宿泊費等は利用者負担です。

◇キャンセル料 当日キャンセル半額

*条件の合う登録介助者が見つからず、御希望にそえない場合があります。

訪問看護サービス

看護師等が家庭に訪問し、在宅療養の支援をします(医療保険、介護保険)。

◇サービス提供範囲 豊中市及び近隣地域

◇サービス提供時間 月曜~土曜 9時~18時



ボーイズ&ガールズ

TEL 06 (6843) 5580 FAX 06 (6843) 5590

重症心身障害児(者)多機能型通所事業所

放課後等デイサービス・児童発達支援・生活介護

◇サービス提供範囲 豊中市及び近隣地域

◇サービス提供時間 児童通所 11:30~17:00 生活介護 10:45~15:30

休み: 日曜・木曜、祝日、年末年始

とよなかしあいしゃじりつしょん
豊中市障害者自立支援センター

TEL 06 (6857) 3601 FAX 06 (6857) 3602

とよなかしあいしゃじりつしょん
豊中市障害者相談支援事業(無料)

とよなかしあいしゃかぞくとうそうだんとうしえん
障害者やその家族等の相談等支援をします。

ふくしりょうえんじょ
◇福祉サービスの利用援助

しゃかいしげんかつようしえん
◇社会資源を活用するための支援 ◇社会生活力を高めるための支援

じりつせいかつかつたいけんしつ
◇ピアカウンセリング ◇権利擁護 ◇専門機関の紹介

とよなかしあいしゃじりつせいかつかつたいけんしつ
自立生活体験室

とよなかしあいしゃかたじりつせいかつかつたいけんへや
障害者の方が、自立生活を体験してみる部屋です(介助者の方は無料)。

しゆくはくりようばくえん
◇宿泊利用 1泊1,500円 ◇デイ利用 1回(5時間まで) 750円

とよなかしあいしゃじりつせいかつかつたいけん
計画相談支援・障害児相談支援・地域相談支援(無料)

とよなかしあいしゃじりつせいかつかつさいじょう
サービス等利用計画の作成、地域移行支援、地域定着支援等。

とよなかしあいしゃじりつせいかつかつさいじょう
豊中市障害者外出支援サービス

くるまたいおうしゃうんこういつばんこうつうりようこんなん
車いす対応車を運行し、一般交通の利用が困難な障害者の社会参加を支援。

りようたいしおうしゃとよなかしないじゅうしょゆう
◇利用対象者は、豊中市内に住所を有し、次のいずれかに該当する15歳以上65歳未満の人、概ね6歳以上15歳未満で車椅子使用の人、65歳以上で豊中市

こうれいしゃがいじゆつしえん
高齢者外出支援サービス『ほのぼの号』の対象にならない人です。

しんたいしおうしゃてちょうきゅうかしだいからんしがくないぶ
①身体障害者手帳1・2級(下肢、体幹、視覚、内部)を所持している人。

りょういくてちょうじゅじひと
②療育手帳Aを所持している人。

じんぞうきのうしおうがいとうせきちりょうう
③腎臓機能障害で透析治療を受けている人。

にゅういんにゅうしょちゅうひとりよう
※入院、入所中の人は利用できません。

りようにちじごぜんじごこじねんまつねんし
◇利用日時 午前9時から午後5時(年末年始12/29~1/3を除く)。

りようりすうつきかいりよう
◇利用回数 月4回まで利用できます。

りようりようみまんえんいじょう
◇利用料 4km未満300円~20km以上2,500円

りようくいき
◇利用区域

とよなかしおよりんせつし
豊中市及び隣接市(大阪市南部を除く)及び特定施設

りょうとうじつ
◇キャンセル料 当日キャンセル300円

とよなかしあいしゃじりつ
点字名刺(送料は一律270円)

かためいしあいしゃじんさつ
◇片面名刺印刷と点字打ち込みの場合 10枚400円

りょうめいしあいしゃじんさつ
◇両面名刺印刷と点字打ち込みの場合 10枚500円

ロゴ・イラスト又は写真入りの場合は10枚につき50円の加算となります。



CIL 豊中通信

～各部門だより～



ボーイズ & ガールズ

おかげさまでリニューアルから2年目。いつも、利用者さんとお出かけしたり遊んだりしていると、時間が過ぎるのがあつという間に感じます。そんなデイの様子を写真付きのおたよりにして、毎月利用者のみなさんにお配りしています。読み返すと、さまざまな活動に取り組んできたなあと、ほっこりします。そんな思い出を作っていくよう、これからもいろんな活動に取り組んでまいります。



ヘルパーステーション

地震に豪雨、台風に猛暑、さまざまな自然災害が起きた夏も過ぎようとしています。公共交通機関、ライフライン。止まることによって改めてあたりまえの大切さを痛感しました。これ以上、何も起きないでくれたら…と願うばかりです。



訪問看護ステーション

6月18日大阪北部地震、7月大雨で交通網ストップ、そして、何と言っても猛暑！そのあとには、経験したことのないレベルの強風の台風21号と本当に災害続きでしたが、幸いご利用様もスタッフも大事に至ることなく、過ごせていることに感謝です。今後も日本全国油断出来ない状況ですが、臨機応変にみんなの安全を考えなければと思いました。各自出来る事から取り組んでいきましょう！



事務局

地震や台風の被害にあわれた皆さん。日常生活が戻っているでしょうか？先日の台風での停電、呼吸器や吸引器を使用している方々は、命にかかわる事態でした。水が出ない、ガスが使えないなど、不自由な生活だったと思います。でも皆さまが無事で本当によかったです。事務はパソコンを使っての業務が8割なので、停電が長引いていたらお手上げでした。これ以上災害が起こらないよう祈るばかりです。



支援センター

人手不足です！猫の手でも借りたい。。。。



編集後記

編集長 根箭太郎

前のページでも何人か触れておりましたが、先の台風21号。私自身も、今までの人生では最長時間の停電を体験しました。また、北海道地震でも、ライフラインなどが段々復旧してきているのは、良かったなと思います。

表紙も、なお一層ハジけた印象であります。(汗)、辛口でも結構ですので、もし何か感想がありましたら、どんどん編集部までお寄せ下さい。

今回の広報誌52号、特集は至って真面目な、重要な話を取り上げたのですが、少しふざけ過ぎたキヤラクターが暴走したようになります(笑)。難しい話でもあるだけに、少しでも読者の皆さんに入つて頂きやすく、カタさを感じさせない記事に仕上げよう

とした。ほかには馬の記事や、犬の話と、動物が出てきたり……。まあ、こんなご時世です。いろんな意味で、安心、が少なくなってきたと感じざるを得ない世の中ですが、一つ、動物と触れ合つて癒やされてみるのも、良いかも知れませんね。

次回は来年3月号になります。だから気が早いですが、良いお年を。

発行人	関西障害者定期刊行物協会
TEL	06(6857)3601
FAX	06(6857)3602
東興ビル4階	定価100円

Twitter: @ciltoyonaka
E-mail: ziritsu@ciltoyonaka.com
P: <http://www.ciltoyonaka.com/>

